

## 編集後記

専修大学体育会バドミントン部の創部50周年に際し、記念事業を行う事を決定したのは3年前の9月、平成21年OB会定期総会の時でした。まだその時点ではおぼろげなイメージだけでしたが、総会それに続く懇親会が大いに盛り上がったのを思い出します。

時が過ぎ、平成22年8月に向ヶ丘遊園のレストランで第一回の準備委員会が開かれました。武田会長、竹重・尾本両副会長、野尻・小塩両監督、他6名の会員であったと記憶しています。集まったメンバーが実行委員となり、その後も委員を増やして17名で準備をしまいいりました。準備会として同年9月・10月（総会）・12月・翌23年1月・2月と毎月のように活動してきました。毎回、記念誌の形態・構成、記念式典の内容、それに対する準備・担当者、記念品の選定など多種多様な事柄を話し合い、一つ一つより良いものを求め探してきました。お酒を飲みながらの時もあり、話も脱線したり、話題豊富な楽しい準備会でした。

そして平成23年3月11日を迎えたのです。開催日5月21日（土）の2ヶ月ほど前です。諸情勢・電気供給・交通網等を鑑み、いち早く記念式典の延期を会長が決断されたのは、翌日3月12日でした。招待状・案内状を発送する直前だったので、大変残念な思いがありましたが、すぐに世の中の雰囲気や、自分の取るべき行動を考えさせられた事などから、「英断」であると感じました。しばらく50周年事業とは距離をおく日々が続きましたが、夏頃から再出発の気運が高まり、約半年後、昨年10月の定期総会で本年5月の記念式典開催が採択されたのです。会長はじめ委員全員が「成功させる」と言う思いを共有し前に進みだしたのです。再び準備に追われる日々となり、以前のようにほとんど毎月準備会を開きました。50周年記念誌が皆様によるこんで頂けるように、記念式典が成功するように願う毎日です。

記念誌にお祝いのお言葉を頂いた学長はじめ関係者の皆様には心から感謝申し上げます。寄稿文を寄せて頂いた先輩諸兄にはお忙しい中、本当にありがとう御座いました。最後になりますが、この事業に携わることが出来て実行委員一同感激しております。

ありがとうございました。

次回60周年、いや優勝祝賀会でお会いしましょう。

バドミントン部OB会専羽会事務局長

平山勝己（昭60卒）

実行委員（敬称略）

武田博之（昭43卒）・雨宮孝行（昭43卒）・竹重三八男（昭44卒）・尾本雅史（昭45卒）・野尻憲介（昭46卒）・佐藤忠志（昭46卒）・大野正義（昭48卒）・小泉文男（昭51卒）・渡辺和政（昭51卒）・鷺見憲一（昭59卒）・小塩信（昭60卒）・平山勝己（昭60卒）・安間和彦（昭60卒）・斎藤隆（昭63卒）・岩沢猛（平2卒）・尾崎弘一（平18卒）・江村慧（平19卒）